

澁路梅雨林之時節

五里百寺禪師起長

可お好し七女古賢長

陳者而事却之可縣不

神埼郡田々大本伯所者

の田地者之先年未の家

よとは頗る持餘し其以迄

可於買麦人、各之、原

口郡の副島仲謙ある者

價格次第にて其買麦者

見込にて幸々をる他、所

用者之席を以て大本伯へ

重層委細に後改る者



上京の
用者之席を以て大本伯へ

重層委細に後政を方部

望に生れ右仲謙の退

職軍醫をも亦記憶の事也

先年才一ふありす 揮

福を得良者ら地方こるはお

産の財産ある者、内生は仍て

誅に懲罰に命書に其の人

大本伯へ面會を得は操所

紹介社通の事有然と親を

の人若原次郎余郎在

所頼り申之答に命書に其

縁の小生より以れ申教

中二尋て昌而合書を其

二分有難直

右様瑣末の事迄有次

高聴了保忠瑞千重

大本伯へ御書と得は採所
紹方社海の旨有終と親也
曰人昌原次中余卿在
序録百中ノ書。今更に其
隨の小生より以れ中教
中ニ尋る。而合書は
二分有終也

右様 瑣末の事迄有次
高懸、係、恐、御、午、参、

白、事、行、可、地方の事、情、所
方、事、の、事、有、左、末、所、深、察
御、事、は、う、と、且、に、程、謹、身、矣

二二日廿一

武富時敏

大隈老伯閣下

侍者